

平成19年度第4回 緑区地域福祉計画推進協議会 議事要旨

1 開催日時

平成19年12月8日(土) 14:00～16:05

2 出席者

緑区推進協議会委員(以下、委員):(出席委員15名)

岡本委員長・秋山副委員長・田宮副委員長
新井委員・石井委員・岩瀬委員・大槻委員
桑原委員・竹内委員・武村委員・徳田委員
豊田委員・平山委員・本田委員
中村委員(吉田委員の代理)

(欠席委員 5名)

大土委員・金井委員・鴨委員・篠原委員
手塚委員

傍聴人:なし

<事務局>

千葉市緑保健福祉センター

保健福祉サービス課 : 中尾主幹・神代主任主事・宮間主任主事

千葉市社会福祉協議会 緑区事務所: 御園所長・高吉主任主事

千葉市保健福祉総務課 計画調整班: 半澤主査・星谷主事

3 開催場所

緑保健福祉センター 2階 大会議室

4 議題

・委員長挨拶

冒頭で

「ときわ園特別講演会(12月16日(日))開催のお知らせ」について、
A委員より説明された。

「千葉いのちの電話」について、I委員より説明された。

「健康フォーラム(1月19日(土)開催)」について、T委員より説明された。

「千葉市地域福祉計画(市計画(公助))の一覧及び現況調査結果」(平成

19年10月1日現在)について、事務局(保健福祉総務課)より説明された。

委員長作成の「緑区地域福祉計画推進協議会 会報NO9」「資料1」を基に議事を進める。

・議題(1) 広報紙(第4号)の発行について

広報部長: 広報部会を2回開催して、お手元のとおりに「広報紙みどりのきずな第4号(1月1日発行)」の案ができましたので誤字等の確認をして欲しい。

委員: 土気地区パイロット事業の内容の中で、参加者・支援者あわせて約300名という部分を220名に訂正して欲しい。

委員: 「緑区ふるさとまつり」の来場者の48,000人は正しいのか。

委員: これは主催者発表の数値なので、正しいと思います。

・議題(2) 緑区地域福祉計画等の推進について

地域福祉パイロット事業の推進状況について各地区の委員より報告があった。

土気地区 「みんなで参加しよう『昭和の森オリエンテーリング』」(平成19年11月18日(日))

当日は、天候に恵まれたことが良かった。各町内自治会をはじめ、社会体育振興会、子ども会などの各種団体が一緒になって、実施できたことは、地区部会の力が十分発揮できた結果だと思う。また、子ども会からは、来年も是非継続してやって欲しいとの要望もあった。

誉田地区 「ばか面(めん)おどり」

地域の方々からの要望があれば、出張して実施したい。また、会員は約30名程で、年に2回くらい神社などで行っている。

椎名地区 「高齢者と子ども達との交流会」(平成19年11月17日(土))

当日の午前中は、子ども達にしめ縄作り、わらじや竹とんぼを作ってもらい、午後は、PTAの方々を中心となり、縁日風の出店やバザー等を行った。また、1月から2月初めにかけて、地域の歴史や習慣・昔話などを通して高齢者との交流を深めたりすることを予定している。

おゆみ野地区 「車椅子ダンスを楽しもう!」(平成19年11月11日(日))

車椅子ダンスの終了後には、講演の中で、歌をうたったりした。また、講演では、スウェーデンの福祉の現状を理解するとともに、日本との福祉に対する考え方の違いを認識することができた。

委員長：これで、今年度のパイロット事業も椎名地区の一部を除いてすべて終了した訳ですが、関係者には大変ご苦労様でした。

・議題（３） 各団体等の活動状況等について

各団体等の福祉の活動状況について、当該委員より説明があった。

「大椎台助け合いの会」について、「資料３」により説明があった。（この会は、地域住民の参加と協力により、在宅で援助が必要な高齢者などに各種のサービスを提供している。）

委 員：庭の手入れをした際の枯れ木や枝の処理はどうしているのか。

委 員：細かく裁断し、可燃ゴミとして処理しています。

委 員：利用している会員に偏りはないのか。

委 員：それはありますね。

委員長：事務局員は常駐しているのか。

委 員：２人常駐しています。

委員長：給料はどうなっているのか。

委 員：１人月７～８万円、自治会から支給されています。

委員長：全世帯が加入しているのか。

委 員：たぶんそうだと思います。現在、会員数は１０７世帯です。また、年会費として１世帯あたり千円を頂いています。

委 員：どのサービスでも利用料は同じなのか？

委 員：車の送迎以外は同じ料金です。３０分２００円で、事前にチケットを購入してもらいます。

委 員：経営は赤字になっていないのか。

委 員：自治会からの補助金があるので赤字にはなっていません。

委員長：広報はしているのか。

委 員：定期的ではありませんが、会員等へ配付しています。

委 員：このようなサービスを始めたきっかけは何か。

委 員：たぶん、助けて欲しいというニーズが多くあったからだだと思います。それから、最初は小さい輪でスタートしたものが段々大きくなって今日に至ったものだと思います。

委員長：スタッフの募集はどうしているのか。

委 員：会員にお手元の資料のような文書を流したり、地域の方々に呼びかけたり、顔見知りを伝手にしたり、民生委員さんを通じたりしながらやっています。

委 員：大椎台とはどんな地域なのか。

委員：ここはまだ 30 年の歴史で、比較的移住者が多い地域です。

「緑区地域福祉計画推進協議会 会報 NO 9」の 3 . 緑区地域福祉計画推進協議会の実態把握（案）について、委員長より提案された。

委員長：今後の推進協では、福祉に関する見聞を広め、私たちの活動の指針とするため、市職員による出前講座や他区（中央区など）の推進協の活動状況を聞いたりすることも必要だと思います。また、例えば、民生委員児童委員連絡協議会等の各種団体の会長さんなどから、地域福祉活動の実情を 20 分程度お話ししていただくことも検討したい。皆様のご意見をいただきたい。

委員：民生委員さんや社協地区部会の活動状況を聞くことは良いことだと思います。

委員：この推進協の委員同士、実際どのような活動を行っているのか良く分からないので、各委員からのお話も聞いたらどうか。

委員長：次回から、2 人位の方に 1 人 5 分間位でお話をお願いしたい。アイウエオ順にしましょう。ペーパーでも良いです。

委員：所属している団体の活動を説明するのですか。

委員長：いいえ、自己紹介程度で良いです。団体活動のお話は、これとは別に 20 分位を考えています。

委員長：それから、福祉に携わるものとして高齢者等の実態を把握する必要があると思います。例えば、お手元の「資料 4」にある緑区の高齢者人口の状況とか、要介護者数、老人ホームの入所者数などの福祉に関する様々な情報をつかんでいけたらいいなと考えています。

・議題（４） その他

委員：「緑いきいきプラザ」では、常連者がカラオケ等を仕切っているため、他の利用者から苦情が殺到している。公平な利用ができるよう、施設を所管している高齢施設課では実態を把握し、運営している指定管理者へ適切な指導・対応を是非お願いしたい。

事務局：承知いたしました。